

1 調査名称：都市計画道路網見直し調査業務

2 調査主体：萩市

3 調査圏域：萩都市圏

4 調査期間：平成25年度

5 調査費：5,346千円
(総合都市交通体系調査)

6 調査概要：

本市においては、15路線、計画延長38,500mの都市計画道路を決定しており、現在の整備率は約74%であるが、計画決定から30年以上経過した長期未着手路線も多く存在している。社会経済情勢が大きく変化する中で、その必要性にも変化が生じていることから、山口県が策定した「都市計画道路の見直し基本方針」に基づき、都市計画道路の見直し方針案を策定する。

I 調査概要

1 調査名：都市計画道路網見直し調査業務

2 報告書目次

第1章 萩市の現況

1. 萩市の概況
2. 萩市の人口動態
3. 上位関連計画

第2章 見直し対象路線の抽出

1. 都市計画道路の現況整理
2. 都市計画道路の課題
3. 見直し対象路線の抽出

第3章 萩市の将来交通量

1. 交通量調査
2. 将来交通量推計

第4章 対象路線の必要性の検証・評価

1. 都市計画道路の必要性検証
2. 都市計画道路の必要性評価

第5章 見直し方針（案）の検討

1. 見直しの方向性
2. 見直し方針（案）の検討
3. 見直し方針（案）の検証

第6章 都市計画道路見直し方針の策定

1. 都市計画道路見直し方針（案）
2. 今後の課題

3 調査体制

委員会等設置なし（萩市都市計画審議会において意見聴取）

4 委員会名簿等：

委員会等設置なし

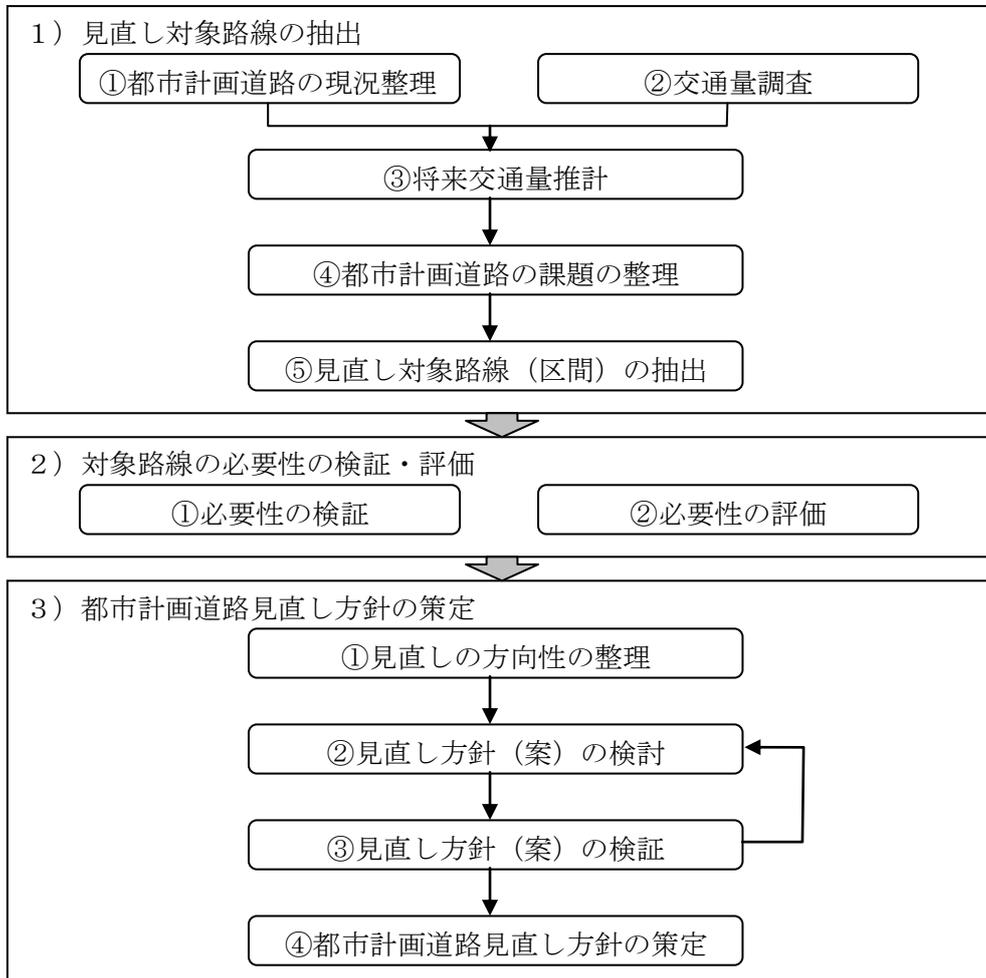
II 調査成果

1 調査目的

萩市の都市計画道路は、15 路線、計画延長 38,500m であり、現在の整備率は約 74% であるが、計画決定後 30 年以上経過してもなお事業未着手の路線（概成済を含む）が 7 路線あり、見直しが必要な状況となっている。人口の減少、経済の低成長等の社会経済情勢の変化や道路整備の長期化と長期に亘る建築制限といった現状を踏まえると、必要性が変化しつつある長期未着手路線については、見直しを行う必要性が高まっている。また、平成 23 年 9 月に都市計画道路萩三隅道路(国道 191 号萩三隅道路暫定 2 車線)が全面開通したことにより、萩市街地内の交通量に変化が生じている。

このような背景から、萩都市計画道路を対象に多様な観点から必要性の検証や評価を行い、計画の存続や廃止を検討し、見直し方針案を策定するものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

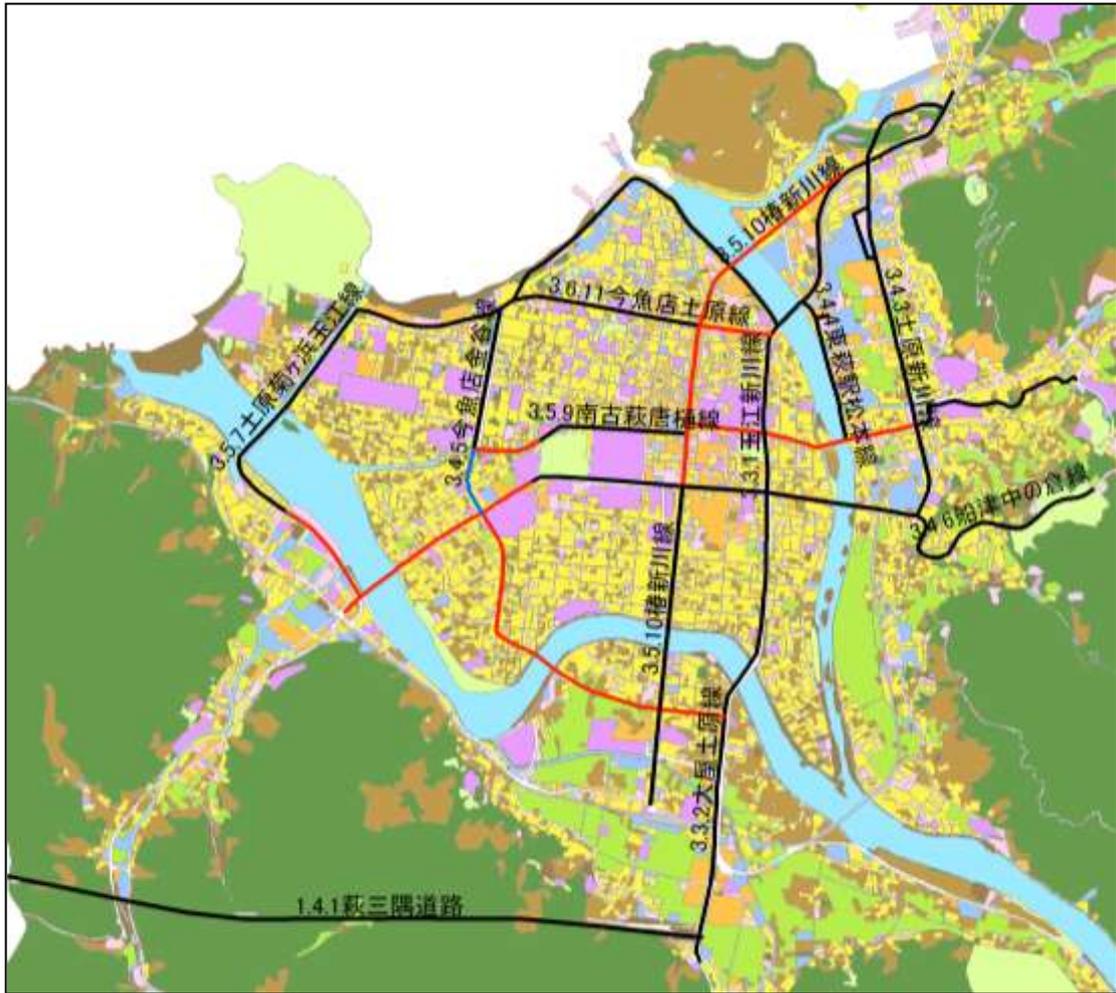
1. 萩市都市計画道路の現状と課題

(1) 萩市都市計画道路の現状

萩市では15の都市計画道路が計画されており、未整備道路1路線、一部未整備道路6路線となっている。都市計画道路の整備状況は以下の通りである。

| 番号 | 枝番 | 路線番号 | | | 路線名称 | 都市計画決定 | 延長 (m) | | 幅員 (m) | 状況 |
|----|-------|------|----|----|----------|-------------|--------|-------|---------|------|
| | | 区分 | 規模 | 番号 | | | 計 | 内訳 | | |
| 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 萩三隅道路 | H4. 8. 21 | 10,600 | 8,076 | 17～20.5 | 整備済※ |
| 2 | 1 | 3 | 3 | 1 | 玉江新川線 | S45. 7. 17 | 4,620 | 3,500 | 16～27 | 整備済 |
| | 1,120 | | | | | | | 22～27 | 未整備 | |
| 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 大屋土原線 | S45. 7. 17 | 2,400 | 2,400 | 25～26 | 整備済 |
| 4 | 1 | 3 | 4 | 3 | 土原新川線 | S45. 7. 17 | 3,090 | 3,090 | 16～20 | 整備済 |
| 5 | 1 | 3 | 4 | 4 | 東萩駅松本線 | S45. 7. 17 | 740 | 740 | 16 | 整備済 |
| 6 | 1 | 3 | 4 | 5 | 今魚店金谷線 | S45. 7. 17 | 3,190 | 300 | 16 | 事業中 |
| | 2,150 | | | | | | | 16 | 未整備 | |
| | 740 | | | | | | | 25 | 整備済 | |
| 7 | 1 | 3 | 4 | 6 | 船津中の倉線 | H1. 2. 28 | 1,220 | 1,220 | 16 | 整備済 |
| 8 | 1 | 3 | 5 | 7 | 土原菊ヶ浜玉江線 | S45. 7. 17 | 4,630 | 4,060 | 12 | 整備済 |
| | 570 | | | | | | | 12 | 未整備 | |
| 9 | 1 | 3 | 5 | 8 | 東田町松本線 | S45. 7. 17 | 1,120 | 1,120 | 12 | 未整備 |
| 10 | 1 | 3 | 5 | 9 | 南古萩唐樋線 | S45. 7. 17 | 1,030 | 750 | 12 | 整備済 |
| | 280 | | | | | | | 12 | 未整備 | |
| 11 | 1 | 3 | 5 | 10 | 椿新川線 | S45. 7. 17 | 3,440 | 1,650 | 12 | 整備済 |
| | 1,790 | | | | | | | 12～16 | 未整備 | |
| 12 | 1 | 3 | 6 | 11 | 今魚店土原線 | S45. 7. 17 | 1,260 | 900 | 8 | 整備済 |
| | 360 | | | | | | | 16 | 未整備 | |
| 13 | 1 | 7 | 6 | 1 | 大広津開作線 | S53. 9. 16 | 60 | 60 | 8 | 整備済 |
| 14 | 1 | 7 | 7 | 2 | 半田千人塚線 | H7. 9. 6 | 270 | 270 | 6 | 整備済 |
| 15 | 1 | 8 | 7 | 1 | 松本東光寺線 | S48. 11. 15 | 830 | 830 | 5 | 整備済 |
| 合計 | | | | | | | 38,500 | | | |

※ ただし、萩三隅道路については、現在暫定2車線の整備状況である。



(2) 萩市都市計画道路の課題

① 計画決定からの長期間未整備

都市計画道路 15 路線のうち、未整備路線 1 路線、一部未整備区間のある路線 6 路線の合計 7 路線は、昭和 40 年代に都市計画決定しており、既に 30 年以上が経過している。その為、当時及び最終変更より、都市計画道路の位置づけや必要性は大きく変化していると考えられる。

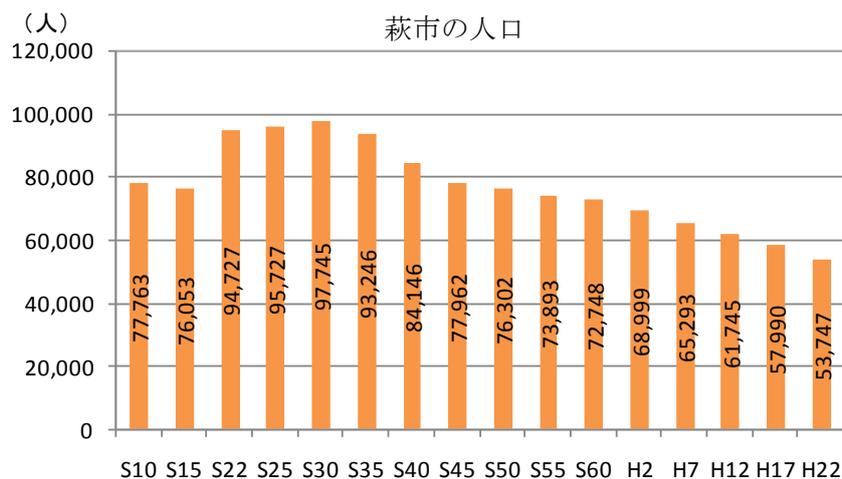


| | |
|------------|----------------|
| ○路線数 | : 15 路線 |
| ○計画全延長 | : 38,500m |
| ・整備済延長 | : 28,286m |
| ・事業中延長 | : 300m |
| ・未整備延長 | : 9,914m |
| 整備率 | : 73.5% |

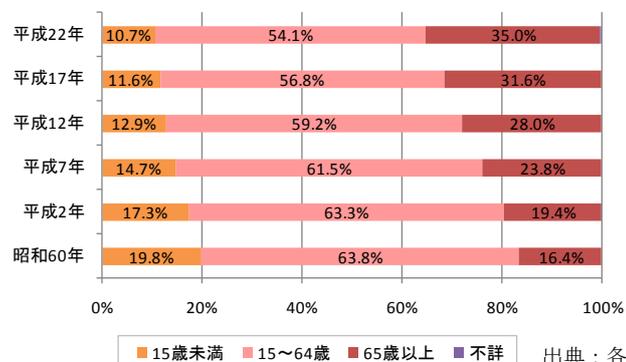
※平成 25 年 12 月 1 日時点

②社会情勢の変化

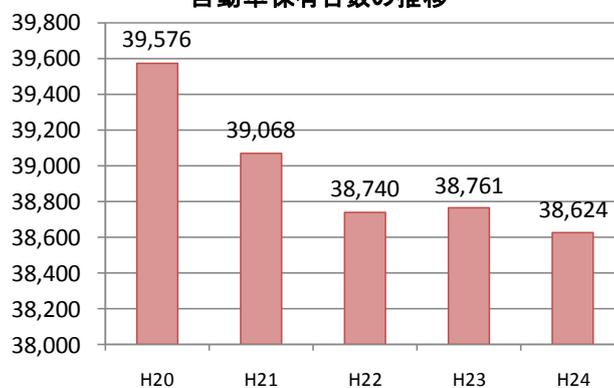
萩市の人口は、昭和20年以降より増加傾向を示していたが、昭和40年代から減少傾向を示している。近年においては、少子化の進行等を要因として高齢化が一層進行している。また、自動車保有台数も年々減少傾向を示しており、これらに対応した都市計画道路の見直しが大きな課題となっている。



出典：各年国勢調査



自動車保有台数の推移



出典：中国運輸局山口運輸支局

③周辺地域への影響

未整備都市計画道路の計画幅員内には、都市計画法第53条による建築制限がかけられており、土地利用や建物更新の際の障害となる。建築物の法定耐用年数が概ね20年から30年となっていることから、都市計画決定時より長期経過している都市計画道路周辺の建物が建替えの際に、再度規制を課してしまう恐れがあり、土地所有者の私権を制限することとなるほか、都市計画の信頼性を失わせることや、民間開発の障害となることが予想される。

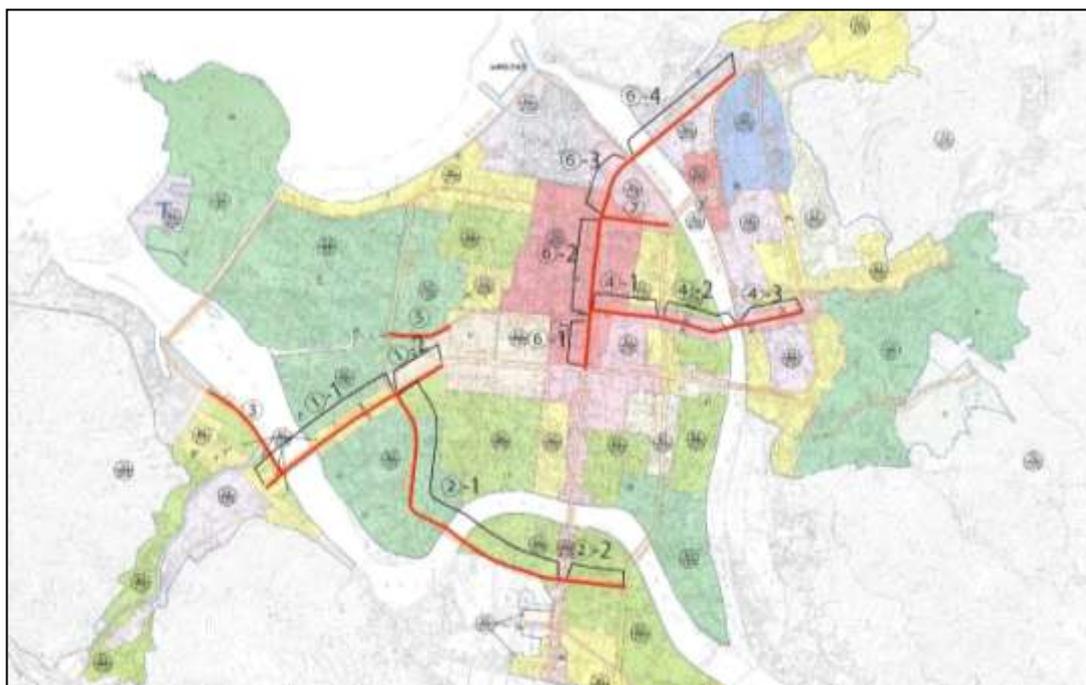


2. 見直し方針の検討手順

(1) 対象路線・区間の抽出

都市計画道路の未着手幹線街路のうち、以下の課題があるものを対象として抽出する。

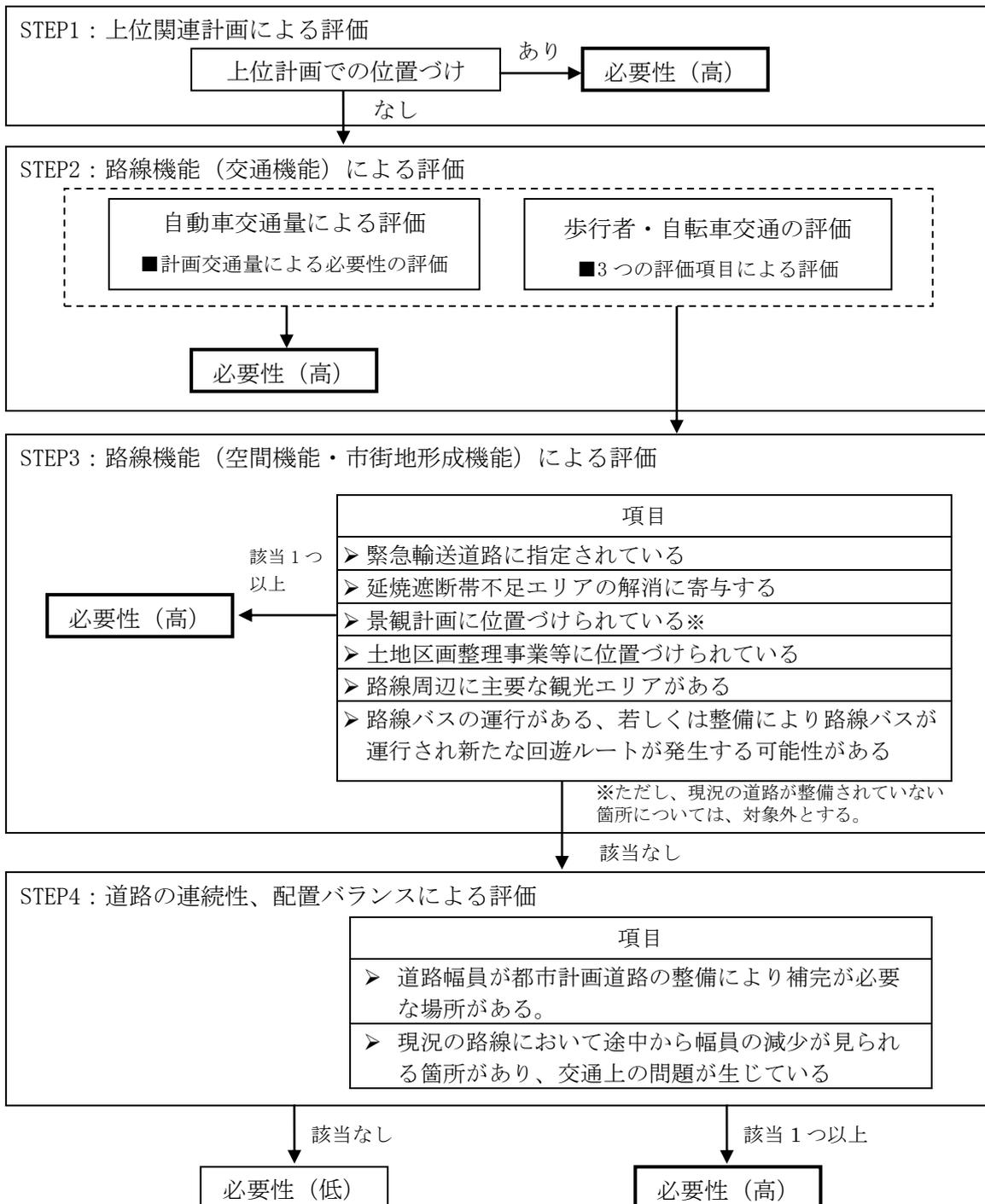
- ①計画決定から30年以上経過したもの
- ②都市計画道路の区域内に歴史的文化財、大規模建築物があるもの
- ③地形的な要因等により道路構造上問題のあるもの
- ④その路線が整備されることで周辺の土地利用に多大な影響を与えるもの
- ⑤その他個別の課題を抱えているもの



| 検討区 間番号 | 路線名称 | 都市計画 決定 | 経過 年数 | 幅員 (m) | 延長 (m) | 未整備 延長 (m) | 路線整備 率 |
|------------|----------|------------|----------|-----------|-----------|------------------|-----------|
| ①-1 | 玉江新川線 | S45. 7. 17 | 42 | 22~27 | 4,620 | 840 | 0.76 |
| ①-2 | | | 42 | 22~27 | | 280 | |
| ②-1 | 今魚店金谷線 | S45. 7. 17 | 42 | 16 | 3,190 | 1780 | 0.33 |
| ②-2 | | | 42 | 16 | | 370 | |
| ③ | 土原菊ヶ浜玉江線 | S45. 7. 17 | 42 | 12 | 4,630 | 570 | 0.88 |
| ④-1 | 東田町松本線 | S45. 7. 17 | 42 | 12 | 1,120 | 360 | 0.00 |
| ④-2 | | | 42 | 12 | | 400 | |
| ④-3 | | | 42 | 12 | | 360 | |
| ⑤ | 南古萩唐樋線 | S45. 7. 17 | 42 | 12 | 1,030 | 280 | 0.73 |
| ⑥-1 | 椿新川線 | S45. 7. 17 | 42 | 12~16 | 3,440 | 360 | 0.48 |
| ⑥-2 | | | 42 | 12~16 | | 530 | |
| ⑥-3 | | | 42 | 12~16 | | 360 | |
| ⑥-4 | | | 42 | 12~16 | | 540 | |
| ⑦ | 今魚店土原線 | S45. 7. 17 | 42 | 16 | 1,260 | 360 | 0.71 |

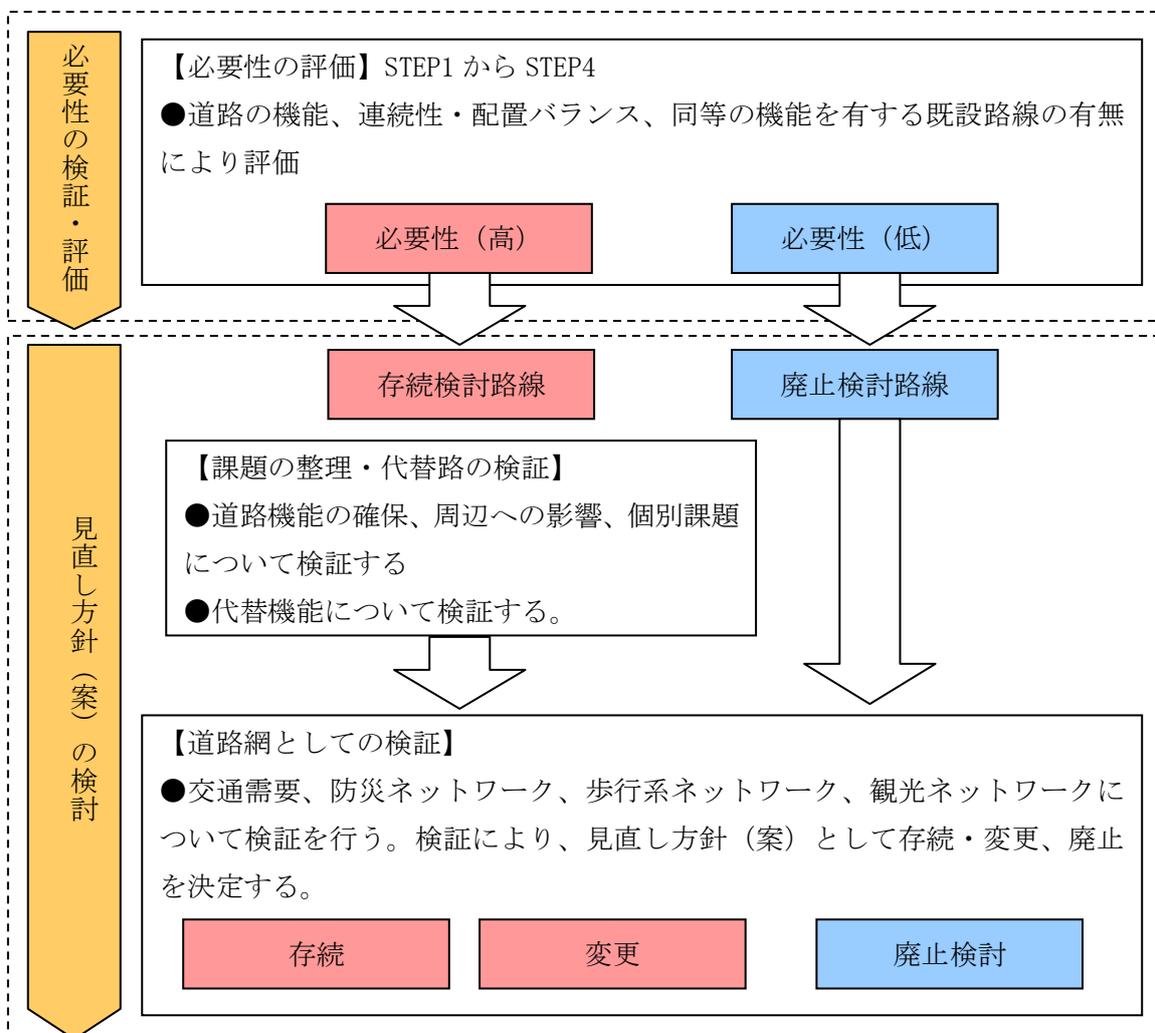
(2) 検討手順と判断基準

都市計画道路の見直し基本方針（山口県土木建築部都市計画課）のフローに従い、都市計画道路の必要性の検証を行う。必要性の検証・評価においては、STEP1 から STEP4 の 4 段階で評価を行った。



(3) 見直し方針（案）の検討

必要性の検証・評価結果より、見直し方針の策定に向けた路線の位置づけを定める。これより、存続検討路線においては、課題解消に向けた検討及び機能代替の検討を行い、廃止検討路線とともに道路網としての検証を行った。



3. 今後の課題

見直し検討路線の必要性を検証し、見直し方針（案）として存続、変更の方向性を示したが、現在、一部区間で事業を行っており、この区間の整備により交通状況に変化が生じる可能性があるため、事業中区間の整備後に交通量調査を実施した上で再評価を行うとともに、都市計画基礎調査の実施や周辺用途地域の見直し、都市計画マスタープランの見直しなど、関連計画・調査等と調整しながら、市の将来像等も踏まえて再検証を行う必要がある。また、対象路線の中には市以外の事業主体の路線があるため引き続き協議を進めていく必要がある。そして住民の合意形成を図りながら都市計画の変更手続きを進める。